



議会だより

No.79

2024年8月1日発行

発行責任者：南魚沼市議会議長 清塚 武敏
編集：議会広報編集特別委員会

作品介绍

タイトル

「初夏の一本道」(しょかのいっぽんみち)

六日町高等学校写真部

3年

高橋 里歩たかはし りほ

この写真は6月上旬の晴れた日に撮影したものです。暑すぎず、心地よい風が吹き、過ぎしやすい、私の好きな季節を1枚に収めました。一本道にはこれから始まる本格的な夏に対する期待がこめられています。



今回より表紙写真については、高等学校写真部にご依頼させていただきます。

目次

令和6年度一般会計補正予算	2ページ
議決結果	3～4ページ

一般質問 19名が市政を質す	5～14ページ
政務活動費報告	14～15ページ

全国市議会議長会より自治功労者表彰を受けました

市議会議員として市政の振興に努めた功績により表彰されました。同じく、北信越市議会議長会からも表彰を受けました。以下敬称省略

- 牧野 晶 (在職 20 年以上 表彰)
- 塩谷 寿雄 (正副議長 4 年以上 表彰)
- 永井 拓三 (在職 10 年以上 表彰)
- 勝又 貞夫 (在職 10 年以上 表彰)
- 塩川 裕紀 (在職 10 年以上 表彰)
- 清塚 武敏 (在職 10 年以上 表彰)

写真 左上から 勝又、塩川、永井
左下から 塩谷、牧野、林市長、清塚



令和
6年

6月定例会

6月定例会は、6月10日から21日に開かれました。
補正予算や契約関係、条例改正等について審議を行いました。

Q & A は一部のみ掲載しています



録画映像配信をご覧いただけます

令和6年度 一般会計補正予算(第1号)

11億6,157万円追加

●空家等総合対策事業費

643万円

Q 特定空き家の除却工事費と補助金が入替えになっているが、理由は。

A 予算で除却工事費として計上していたのは、清算人がおらず、市が代執行する場合を想定していたものであるが、今回の案件については、既に清算人がおり、除却、土地の清算などをするため、補助金として支出することとした。

●学校給食費

2,445万円

Q 学校給食費の保護者負担が増えないように、国の交付金等を使ったということだが、全国的にはメニューが減ってきているということも問題となっているのか。この額で十分賄えるのか。

●単価が上がることで、選べる食材が限定される。求められる基準を満たすだけでなく、様々な献立や食材、また、若干値段が高い傾向はあるが地場産のものを使えるように対応している。

A 単価が上がることで、選べる食材が限定される。求められる基準を満たすだけでなく、様々な献立や食材、また、若干値段が高い傾向はあるが地場産のものを使えるように対応している。

●選挙管理委員会費

74万円

Q 選挙の投票所が減るといって明だったが、投票所が減ると、投票率が下がるのではないかと。行政としてどう対応していくのか。

A 投票所には、近隣の人を除いては大体車で来る。立会人の選任にも苦慮しており、期日前投票が伸びることから、投票所を集約させてもらう。移動投票所や、巡回タクシーなどを検討し、投票率が下がらない努力をしていきたい。

常任委員会
管内調査報告

総務文教委員会

期日 令和6年4月22日(月)

- ① 市政20周年記念事業について
- ② 地域おこし協力隊について
- ③ 避難所と自主防災組織について

社会厚生委員会

期日 令和6年4月25日(木)

- ① 介護施設大規模改修緊急5か年事業について
- ② 保育施設の統合について（現地調査含む）



社会厚生委員会
石打保育園における現地調査の様子

産業建設委員会

期日 令和6年4月30日(火)

- ① チャレンジ支援事業について

議会傍聴に来ませんか

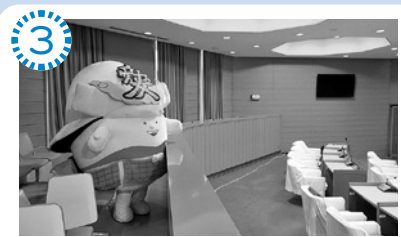
市議会の活動を知ろう



市役所本庁舎の3階議場入口に「傍聴受付簿」があります。住所、氏名、年齢を記入し、「傍聴受付箱」に入れてください。



傍聴入口から入ってください。携帯電話や電子機器の電源は切りましょう。



空いている席に座ってください。傍聴席での録音や撮影、おしゃべりなどはできません。

毎年3月、6月、9月、12月に行われます。詳しい日程は、市報または市ウェブサイトを確認いただくか、議会事務局にお問い合わせください。

事前の予約は必要ありません。ぜひ、生の議会を見に来てください。★お待ちしております★

賛否
一覧表

起立採決等によりそれぞれの賛否が明らかにされ、かつ、賛否が分かれた議案について詳細を表示しています。

○=賛成 ×=反対 棄=棄権 欠=欠席 除=除斥

※議長は採決に加わりませんが、賛否が同数の場合は議長裁決となります。
※除斥（じょせき）とは、議案と一定の利害を有する議員は、議案審議に参加できない制度です。

議案	氏名	南魚みらいクラブ							歩む会				市民クラブ				未来創政会			日本共産党議員団		無所属		
		目黒哲也	吉田光利	塩川裕紀	清塚武敏	桑原圭美	小澤実	黒滝松男	関常幸	勝又貞夫	鈴木一	塩谷寿雄	牧野晶	梅沢道男	田中せつ子	佐藤剛	寺口友彦	大平剛	永井拓三	中沢一博	川辺きのい		中沢道夫	黒岩揺光
第2号報告		○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
第50号議案		○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	
第54号議案		○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	
第57号議案		○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
第58号議案		○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
第59号議案		○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
第68号議案		○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	
第69号議案		○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	
第70号議案		○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	

令和6年6月定例会の全議決結果

(傍聴者 延べ56人)

議決結果の詳細はウェブサイトでご覧いただけます→



議案番号	市長提出議案	議決結果
第2号報告	令和5年度南魚沼市一般会計補正予算(第10号)	承認(賛成多数)
第3号報告	令和5年度南魚沼市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	承認(全会一致)
第9号報告	南魚沼市税条例の一部改正について	承認(全会一致)
第10号報告	南魚沼市国民健康保険税条例の一部改正について	承認(全会一致)
第50号議案	令和6年度南魚沼市一般会計補正予算(第1号)	可決(賛成多数)
第51号議案	令和6年度南魚沼市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第52号議案	令和6年度南魚沼市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第53号議案	南魚沼市交通安全の確保に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第54号議案	南魚沼市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	可決(賛成多数)
第55号議案	南魚沼市地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決(全会一致)
第56号議案	南魚沼市番号法に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第57号議案	財産の取得について(消第1号 小型動力ポンプ付軽積載車(消防団仕様)9台)	可決(賛成多数)
第58号議案	財産の取得について(消第3号 高規格救急自動車(シャシ・艀装)1台)	可決(賛成多数)
第59号議案	財産の取得について(消第5号 災害対応特殊救急自動車(シャシ・艀装)1台)	可決(賛成多数)
第60号議案	財産の取得について(建備第1号 ロータリ除雪車(2.6m級)1台)	可決(全会一致)
第61号議案	財産の取得について(建備第2号 小型除雪車(1.5m級)1台)	可決(全会一致)
第62号～ 第64号議案	人権擁護委員の候補者の推薦について(3議案)	同意(全会一致)
第65号議案	財産区管理会財産区管理委員の選任について(大字塩沢財産区)	同意(全会一致)
第66号議案	新潟県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	可決(全会一致)
第67号議案	工事請負契約の締結について(大改小第1号 北辰小学校大規模改修(建築工事))	可決(全会一致)
第68号議案	工事請負契約の締結について(健診工第1号 健診施設等建設事業 建築工事)	可決(賛成多数)
第69号議案	工事請負契約の締結について(健診工第2号 健診施設等建設事業 電気設備工事)	可決(賛成多数)
第70号議案	工事請負契約の締結について(健診工第3号 健診施設等建設事業 機械設備工事)	可決(賛成多数)
議案番号	請 願	議決結果
請願第1号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願書	採択(全会一致)
議案番号	議員発議	議決結果
発議第3号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出について	可決(全会一致)

一 般 質 問

一般質問は質問順で掲載しています。
Q&Aは一部のみ掲載しています。



市職員の兼業及び副業の現状と今後について



南魚みらいクラブ
小澤 実

Q 労働人口減少により市内では季節的繁忙期に人材の確保ができず、困っている業種がある。地域産業等を支えるための活動や文化スポーツを推進するための活動に職員の参加を促せないか。

A 職員の兼業及び副業は任命権者の許可が必要だ。消防団、行政区役員その他で180人ほどが許可を得ている。令和6年度より営利企業への従事について新しい許可基準を示し、活動の後押し・人材育成を含め、積極的な地域活動への参加を促している。

防災士資格取得の助成をすべき



自主防災組織研修会での防災啓発展示

Q 地域ぐるみの自主防災組織の強化を図るため経験豊富な消防団の分団長経験者に助成すべきと考えるが。

A 取得費用は一般の人が6万3千円、分団長経験者は9千円かかる。他自治体も参考にして制度設計に向け、ぜひ検討したいと考えている。

人口・世帯数減少地域の防犯について



歩む会
鈴木 木

Q 最近、一軒家での一人暮らしのお年寄りが、強盗に襲われたという報道が何件もあった。今後、人口減少等で高齢世帯や一人暮らしのお年寄りの防犯にどう取り組むか。

A 民生委員や地域の人たちと協力し、戸締り徹底の呼びかけ、防犯チラシの配布など、防犯対策を検討していきたい。また、特殊詐欺被害防止のため、通話録音装置対応事業として、現在延べ51人が利用している。

Q 中国の古い家造りに胡同等いものがある。例えば既存の住宅を何件か利用して、小さなコミュニティをつくっていくことも大事では。

A 胡同のようにまとまってもらい、例えばその建物を個人所有にしないなど、戦

後以降の住宅政策を少し変えなければならぬと感じている。まとまるという点では、地域医療・買物等を含めて意義があると思う。

はじめ





各議員の氏名の下の QR をスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧になれます。

通告書はこちら

一般質問とは・・・議員が市の行政全般について、執行機関に対して所見を求め、疑義を問いたたずもの。



歩む会

塩谷 寿雄



部活動の地域移行について問う

Q

部活動の地域移行に関する会議に出席している保護者、指導者は令和8年度までに地域移行、クラブチーム化をしないと大きな大会に出られないとの認識だが、私が文部科学省の担当者に確認したところ、令和8年度になっても部活動でも大会に出られると聞いている。市の進め方とは違うと感じているが、市の考えは。

A

国は令和5年度から令和7年度までを改革推進期間とし、令和8年度からのことは明らかにしていない。一方、県は令和7年度末までに地域移行完了の方針を示している。市は県に従い令和7年度に地域移行の完了を目指している。令和8年度からどのような形になるかは曖昧である。

Q

先に地域移行をし、不利益になるのではおかしいと考える。令和8年度以降部活動として残った場合、例えば市バスは、部活動なら使えるが、地域移行をした場合は使えなくなるのではないか。地域移行について国と県の指導が違う中で、市はそこをしっかりとりたいと問題が解決していかないのでは。

A

令和7年度末までに、全て地域移行を目指すのが部活動が残った際も地域クラブの子どもたちや保護者に不利益が生じないように、バスも含めて調整したい。



中学部活動の民間移行に向けた取組状況は

Q

部活の民間移行後の活動経費は保護者負担となるが、負担額等について、保護者の理解は進んでいるのか。

A

負担額等は専門部会で議論している。具体的な額等については、ニーズ調査を行い提示したい。

Q

スポーツ団体の運営が、きちんと継続されないと移行後の子どもたちの運動の場がなくなる。これには、何らかの財政的な支援も必要ではないか。

A

移行し、継続するには、人とお金がないとうまくいかない。市としても、それなりの金銭的支援は避けて通れない。そういった姿勢を持って取り組んでいきたい。

Q

部活動の民間移行後は、受益者負担が原則と



市民クラブ

梅沢 道男



A

なる。要支援家庭等も含め、生徒の運動の機会が奪われないための対策は考えているか。

Q

学区再編の答申に基づくと大和中学校建て替えに合わせ、地域スポーツ活動や誘致大会も開催可能な応援席つき総合体育館的な学校体育館の建設を検討すべきではないか。

A

学校体育館としては難しいが、観客席つき体育館がなく、大会開催には不都合な地域である。学校施設でも観客席つきもあってもよいのではないか。これがチャンスになるかもしれないという思いはしたというのが正直な気持ちだ。

学区再編に合わせ、大和中に総合体育館の建設を

一 般 質 問

一般質問は質問順で掲載しています。
Q&Aは一部のみ掲載しています。



南魚みらいクラブ

吉田 光利



市長二期目の総括と課題は

Q 目標のふるさと納税額 県下1位を見事達成したが、総括は。

A 寄附者、そして高品質の返礼品を提供している事業者、加えて職員の頑張りであり、宣伝効果も大きかった。課題は昨年のような米の品質の低下、宣伝の検証と戦略である。

A 市立病院群の再々編について、地域住民の反応と理解をどう捉えているか。

Q 市立病院群の再々編について、地域住民の反応と理解をどう捉えているか。

A 初期的な反応は厳しいものがあったが、逃げることなく一丸となり説明し、理解は各段に上がってきたと思う。

Q まちづくりとの連携を前提として浦佐地区に大和診療所を移すと示しているが、検討は進んでいるのか。

A 新しい診療所を含むセンターの新築移転を想定しなければならぬ。現在検討しているところである。

Q 新ごみ処理施設建設の三集落との協議の状況は。

A 心を砕いてきた。三集落の理解が素晴らしく、手応えを感じている。

市の発展のために三期目に挑戦を

Q 待ち前の企画力、実行力、発信力で実績を上げている。市の発展のために三期目に挑戦をどう考えるか。

A 多くの市民や、素晴らしい出会いに恵まれてきた。人口減少など課題はいっぱいある。不思議なくらい情熱が尽きることはない。二期目は、これまでやってきたことをさらに前に進めたい。

ガンダムマンホールを活用した活性化について

Q ガンダムマンホールプロジェクトは地方自治体と協力し、国内の活性化を図るといふ目的があるが、ガンダムマンホールを活用した活性化の計画はあるか。

A 5月2日からJR六日町駅の観光案内所に展示したが、5月末までに訪れた人は1,000人を超え、反響の大きさを感じている。地域活性化に寄与できることが多々あると思うので、積極的なPRに取り組んでいきたい。

Q 例えばガンダムカード、ガンダムラッピングカード、ガンプラ工場の制服着用など市内の業者や市民から知恵を集めて、出された提案をライセンスにぶつける考えはないか。

A マンホール蓋を設置しないと、カード発行などの企画や商品化はできないので、早めに設置したい。



南魚みらいクラブ

目黒 哲也



Q ガンダムマンホール蓋を寄贈された21自治体を巻き込み、スタンプリーに取り組むなど連携してはどうか。

A 提案を参考にしながら、いろいろ思いを巡らせてみようと思う。

Q 市にはガンダムのキャラクターデザイナーである安彦良和氏が書き下ろした直江兼続公の原画、加えてガンダムのメカニックデザイナーである大河原邦男氏が書き下ろしたバサマロボの原画がある。眠らせておくのはもったいない。その宝を磨くと共に、安彦氏と大河原氏のトークショーを考えてみたらどうか。

A 面白い話題なので、調査研究をし、取り組めるところを狙っていきたい。



各議員の氏名の下の QR をスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧になれます。

通告書はこちら

一般質問とは・・・議員が市の行政全般について、執行機関に対して所見を求め、疑義を問いただすもの。



南魚みらいクラブ

塩川 裕紀



高齢者の移動手段の確保について

現在運行している栃窪・岩之下地区でのデマンド交通の現状と成果は。

栃窪・岩之下地区のデマンド型の市民バスは、昨年8月に実証実験を開始し、今年5月末までの10か月間で延べ90人の利用があった。主な目的地としては、塩沢庁舎、塩沢駅または塩沢地域内のスーパー、医療機関、郵便局、そのほかでは六日町駅やショッピングセンターが挙げられていた。現段階では1便当たりの乗車人数が1.1人、デマンド交通を導入する前と比較し、横ばいとなっている。これは電話での予約方式など、新たな交通サービスの利用方法に慣れていないことも利用者数が伸び悩んでいる一因と推測している。今後、対象地域の高齢者に対し、市民バスの利用に関するアンケート調査

を行い、より多くの人が移動手段として利用できるように改善していきたい。

一般ドライバーが自家用車などを使って、有償で人を運ぶライドシェアが条件付で始まる。市でも有効な手段と考えるが、市長の考えは。

市は市民バスを13コースで運行しており、ほかにも市内全域で路線バス、タクシー事業者によるサービスが行き届いているため、交通空白地帯は発生していないという判断だ。過疎地ライドシェアの導入は必要ないというのが今のところの考え方だ。引き続きライドシェア、AIオンデマンド交通のような交通体系など、ほかの自治体の動きを注視しながら、効果的かつ持続可能な地域公共交通を確保できるように努めていきたい。



無所属

黒岩 揺光



過去10年で低下した市内の子どもの学力について

平成28年度、全国学力調査の結果では、市内の子どもの学力は全国平均を上回るか、または同等だった。しかし、近年では、どの科目も全国平均を大きく下回っている。特に、令和5年度の英語のスコアは全国平均45に対し33である。70か国からの住民が暮らす国際都市・南魚沼でこの結果はいただけない。学力向上のためには何ができるか。

学力低下の要因は家庭学習時間の不足で、AIドリルを導入するなどして個別に指導ができる環境を整備し、読む力の育成を推進している。英語については、国際大学の学生たちと交流するプログラムや海外派遣事業を実施している。

国語の学力は全国平均と同等だったため、読む力の問題ではないと思う。学力低下の要因は、国語、算数、英語が好きと答える割合が全国平均よりも低いことではないか。勉強が嫌いな子に勉強しろと言っても、もっと嫌いになるだけだ。私の小学2年の息子は、学校のプログラムでまだ一度も国際大学のキャンパスに行っていない。市内にある国際的資源を活かし、子どもたちに勉強が好きなようになるきっかけづくりとして、市内の子どもたち全員に年に1回、国際大学のキャンパスを探索する機会を提供してはどうか。

例えば、駅前留学という発想を含め、できることをやっていきたい。

一 般 質 問

一般質問は質問順で掲載しています。
Q&Aは一部のみ掲載しています。

公共施設には防犯カメラを設置せよ



歩む会

勝 かつ
又 また
貞 さだ
夫 お



Q

防犯カメラの設置については、一般質問で繰り返し提案してきた。いまだに学校、保育園、公共施設、スポーツ施設などには設置されていない所がある。今後の防犯カメラ設置について市の考え方を問う。

A

令和6年度から令和7年度にかけて増やしていく予定だ。



防犯カメラの一例

公用車には全てドライブレコーダーを取り付けよ

Q

市の公用車にドライブレコーダーを取り付けるべきと繰り返し提案してきた。通学・通園用のバスのみならず、全ての公用車に取り付けるべきと考えるが、現状と今後の考え方を問う。

A

市が運行するバスについては、全33台のうち29台に設置済みで、残り4台についても現在発注している。一般車両については、146台中20台に設置されている。ドライブレコーダーの重要性については理解している。新しく購入する車には設置していくが、今ある車両にも順次設置を進めるよう心がけている。

市の防災・減災対策について



未来創政会

大 おお
平 だいら



Q

災害発生時、上下水道が破損等で使用できなくなった場合に、広報を行う手段を確立していかないと、下水道が逆流する等の被害が増大してしまうのではないかと。

A

上水道は、蛇口をひねっても水が出ないと必然的に現場で広報したことになる。心配なのは下水道であり、これからの大きな課題と想っている。下水道の広報も含めた中で進めていきたいと考えている。

Q

集落センター・集会場の耐震化が進んでいない現状で、集会場施設整備事業補助金を拡充して、バリアフリー化も含め耐震化を進めていく考えは。

A

行政区では集会場を災害発生時の避難所として

いるところも多く、耐震補強や建て替えを促す必要があると思う。少し研究をしてみたい。

市立病院群の今後について

Q

市立病院群の経営の見通しは。

A

市民病院における医業収益の推移を見ると、令和2年度は32億900万円、令和3年度は33億1,800万円、令和4年度は35億9,800万円。令和5年度は決算見込みで36億7,100万円となっている。収益は、令和2年度に比べ4億6,200万円、14.4%増加している。令和7年度までは収支が苦しい状況が続くが、棟の再編や、健診施設の移転により、令和8年度以降に経営状況をさらに好転させるべく取り組んでいる。

各議員の氏名の下の QR をスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧になれます。



通告書はこちら

一般質問とは・・・議員が市の行政全般について、執行機関に対して所見を求め、疑義を問いたたずもの。



南魚みらいクラブ
桑原 圭美



子ども・若者相談支援センターの学習支援について

Q 学習支援員を、元教員以外からも採用する考えはあるか。

A 学習支援員は児童生徒の学習状況や理解度、日々の心の揺れにも丁寧に取り添いながら、少しでも学習意欲が向上し、学習習慣が定着するよう支援に当たっている。そのため、不登校の児童・生徒への理解があり、発達障がい等の特性を考慮した指導が行える元教員を任用している。

Q スタディールームを利用し、高校に進学した生徒はどのくらいいるか。

A 中学3年生の利用者6人が進学している。しっかりとスタディールームなどで学び、自分の進路を決めて進んでいる。

Q スタディールームの実施状況から、回数や時間を増やす考えはあるか。

A 昨年度は、年間127回の実施であった。大和地域に支援拠点ができ、活動や学習の機会は今後増えていくと考えている。開設回数や時間については利用状況により判断したい。まずは子どもたちが自ら利用し、参加しようという気持ちを醸成していく。

Q 学校と家庭の要望や相談内容を、どのように子ども・若者相談支援センターで活かしていくのか。

A 児童生徒との相談で、子どもの心の安定を図ることを第一に考え、次の行動に結びつくよう、日々の状態に応じて、きめ細かい情報共有と相談体制の構築に努めている。



未来創政会
永井 拓三



行政事務に関するDXはどのように進めるか

Q 幼児保育現場の業務をDXでどのように効率化するのか。

A 児童の登園と降園の管理を自動化し、事務負担の軽減だけではなく、保護者は夜間にも欠席連絡ができ、利便性が向上する。また、令和6年度中をめどに保育園での活動を閲覧できるシステムの準備を進めている。これらの取組で事務負担を軽減でき、児童に向き合う時間を新たにすることができると期待している。

Q 学校教育現場の業務をDXでどのように効率化するのか。

A ICTを活用した効率化はこれまでも推進している。また、一人一人の理解度や学習状況に応じた個別最適な学習が、家庭で取り組み、意欲

が湧くように進めている。

Q 医療現場の業務をDXでどのように効率化するのか。

A へき地巡回診療、中山間地域の出張診療、患者の個人宅や介護施設への往診でデジタル通信技術を用いて、電子カルテを現地で操作することで診療業務の効率化を図っている。

Q 行政全般の業務をDXでどのように効率化するのか。

A 窓口の電子申請化を含め、行政事務のデジタル化を進める。これは、職員の事務軽減と業務の効率化による行政サービスの向上、市民の利便性の向上につながると思っている。

一 般 質 問

一般質問は質問順で掲載しています。
Q&Aは一部のみ掲載しています。



市民クラブ

田中せつ子



結婚の希望をかなえる 支援強化を早急に

Q 令和5年度の婚活・交流イベントの開催実績と、令和6年度目標6回達成への取組状況は。

A 令和5年度は4回開催し、令和6年度も4回を計画している。

Q 南魚沼市結婚活動支援補助金の活用に向けた広報の実施状況と利用実績は。

A 市報と市ウェブサイトで周知し、令和5年度は5人、令和6年度は現在1人が補助金申請している。

Q 地域の世話焼き人やハートマッチにいがたサポートを増やし、近隣市町村との連携を深めよ。

A 研修会の周知や近隣市町村と連携し、活動に興味がある人を掘り起こすことか



南魚沼市
婚活支援事業

消防団員減少対策に取り 組み、地域防災力向上を

Q 消防団活動の負担軽減と処遇改善の効果をどう評価するのか。

A 訓練の見直しと小型ポンプの軽量化は負担軽減になった。処遇改善は進んだが団員確保には繋がっていない。

Q 新人団員の確保は、市画等を活用し推進を。

A 県のPR動画の活用や市の状況に合ったパンフレット等を消防団幹部と相談して考えたい。

ら始めたい。



未来創政会

中沢 一博



安心して暮らせる高齢 者の福祉向上を

Q 複合的な悩みに対応する相談支援のために市役所内に福祉総合窓口を開設し、そこに耳が聞こえにくい高齢者や難聴者が円滑にコミュニケーションを取れるよう軟骨伝導イヤホンを設置できないか。

A 相談者の内容に応じて窓口で職員が移動し、連携してチームで対応している中で、福祉総合窓口は今のところ考えていない。軟骨伝導イヤホンの窓口設置については研究してみたい。

Q 空き家放置の防止や所有者不明土地の解消のため、相続登記の義務化を。

A 所有者不明土地が多く発生して社会問題になっている。令和6年4月から義務化されたが、ほとんどの人が知らない状況である。制度の周知

を図っていききたい。

Q 空き家を取り壊すと土地の固定資産税を減免する住宅用地特例がなくなるため、放置する空き家が増えている。固定資産税の増額分を最大5年間免除するなど、空き家除去の後押しをできないか。

A 市では空き家放置を未然に防ぐため、空き家等除去事業補助金を創設している。国税では3年目までに三千万円を特別控除する制度がある。市税の減免について租税公平主義の観点から現在、考えていない。

Q 単身高齢者や障がい者、生活困窮者など、住まいの確保のための居住サポート住宅の創設を。

A 単身高齢者など安心して入居できる住宅の確保は真剣に模索しなければならぬと考える。



各議員の氏名の下の QR をスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧になれます。

通告書はこちら

一般質問とは・・・議員が市の行政全般について、執行機関に対して所見を求め、疑義を問いたただくもの。



日本共産党議員団

中沢道夫



学校給食費の無償化に踏み出す考えは

Q 学校給食費の無償化が全国に広がり、3割を超える自治体が完全無償化に、一部無償化を加えると4割まで広がっている。南魚沼市でも無償化に踏み出す考えはないか。

A 国が一律に行うべきという考えに変わりはない。子どもはどこで生まれても同じサービスを受けられなければいけない。これを自治体の競争に置くことはあってはならない。

Q 小中学校一斉に無償化は無理だとしても、多子世帯の3人目以降を無償にするなど、先行して実施する考えはないか。

A いろいろな基準の取り方があり、煩雑だ。また様々なケースもあって難しい。事務上の問題は、非常に簡単で

はないと認識している。

農家への支援策の充実

Q 今年冬場の降雪が極端に少なかったうえに、春先の降水量も今まで経験したことがないほど少なく、他の地域では作付できない圃場があると聞くが、市内ではどうか。

A 大変懸念をしていたが、昨年の夏同様に、雪用井戸からの保水もあり、作付を断念した水田があるとは聞いていない。

Q 農地の集積一辺倒ではなく、希望する農家が営農を続けられるような助成制度が必要ではないか。

A 大規模だけでなく小規模農家も含めて、バランスよく進めていく必要がある。必要な支援はしていく。



市民クラブ

佐藤



フードドライブの充実で生活支援強化を

Q 厚生労働省のひとり親世帯調査では、母子世帯の就労収入は100万円未満が約20%、預貯金は50万円未満が約40%だ。市内のひとり親世帯がこういう状況ではないとも言いが切れない。そういう中で、社会福祉協議会で行っているフードドライブは、今できる生活困窮者への生活支援と同時にSDGsの食品ロス問題、貧困問題等の取組にもつながる。行政として積極的に力を入れるべき課題ではないか。

A フードドライブは、生活困窮といった福祉面と、食品ロスという環境面で重要なものと考えている。長岡市のフードバンクとの協力関係が、現在は終了していることもあり、現実的な支援の必要性は指摘のとおりだが、支える側の余力の課題もある。財源が確立されて

いる支援制度で措置をすべきと考えている。

Q NPOによる昨夏のひとり親家庭生活調査では、7月に家族の米が買えなかったことがあったとの回答が43.9%。1か月の食費は2〜3万円が684人中最多の196人、1万円未満が41人という結果である。フードドライブは社会福祉協議会だけでなく、PRや支援物資の収集・配布場所を市役所各庁舎にも拡大するなど、市の係わりを増やせば、支援物資の配布回数も増え、生活困窮者には現実的な支援となるが、市の考えは。

A アンケートについては、市はここまでの状況ではないと信じたいが、注意をしなければと思う。フードドライブの市の係わりについては、担当や社会福祉協議会を含め検討してみたい。

一 般 質 問

一般質問は質問順で掲載しています。
Q&Aは一部のみ掲載しています。



歩む会
牧野の

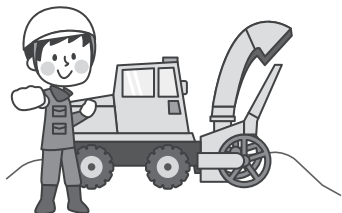
あきら



将来を見通した市のインフラ維持のために

Q 県と市の一括で除雪計画の作成を進めるべきではないか。

A 除雪作業は、それぞれの道路管理者が管理する道路の除雪を行うことが基本だ。市道は市、県道は県、国道は国が基本だが、市と県では、道路除雪において、相互乗り入れ除雪を行い、除雪作業の効率化を図っている。しかし、管理する道路事情や除雪体制が異なっており、一括した除雪計画の作成は非常に難しい。検討の時期にきているのかもしれない。



Q 全国的に運転士不足によるバス路線の廃止減便等が進んでいる。市内のバス会社やタクシー会社等に対しても支援が必要ではないか。また、スクールバスなどの契約を複数年とすることで経営基盤の安定を図るべきではないか。

A 都会でも、バスの便数は激減している。令和6年4月に働き方改革関連法が施行されたことに伴う時間外労働の上限規制の見直しに影響している。来年度に向けてバス事業者に対して人材確保を支援するための補助制度を検討している。複数年の契約のネットワークは予算の債務負担行為だ。これがクリアできればという思いはある。



住民の生きるを支え続ける医療について

Q 魚沼圏域地域医療構想調整会議で病院事業管理者は「大和地域における病床過剰」という意識は全くない」「本来45床全てが必要な病床」と発言しているが、今もその認識に変わりはないか。

A 病床が過剰でない点、45床が必要な病床である点については、今も認識に変わりはない。慢性期や終末期の医療需要が高い状態で推移することを踏まえ、そうした病床を増設するよう検討したい。

Q 第8次新潟県地域保健医療計画で魚沼医療圏域も基準病床数が引上げられた。必要な医療を提供するには、ふさわしい病床数が必要だということだ。ゆきぐに大和病院の診療所化で、医療需要にこたえられなくなるのではないか。



日本共産党議員団
川辺きのい



A ゆきぐに大和病院が広えてきた医療需要・介護需要を否定するわけではないが、現行の医療法、労働基準法をクリアするためには2か所の病院を管理することは不可能だ。入院機能は市民病院に集約することを基本とし、必要な病床数については今後検討していきたい。

Q どこに住んでも必要な医療を受けることができる環境を整備するのが国や県の役割だ。医師の働き方改革への対応と地域医療の充実のためには、医師が不足している地域に対して国・県の責任で医師を派遣する制度が必要ではないか。

A 様々な場面を通じて、国や県に要望してきた。地域枠の制度は、新潟県が中心となって国に働きかけてきた結果だ。今後も医師確保に関する要望は国・県に対して続けていくが、他力本願だけでは地域医療が崩壊しかねない。



通告書はこちら

各議員の氏名の下の QR をスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧になれます。



市民クラブ
寺口友彦



災害関連死認定審査会
条例の制定について

Q

地震で直接亡くなられた人への災害弔慰金支給に関する条例はあるが、災害関連死の人への弔慰金支給は、関連死認定がなされないと実行されない。南魚沼市にはいまだ条例が制定されていないが考えを伺う。

A

災害弔慰金は死亡の場合、最大500万円が支給される。直接亡くなられた人の他に関連死があり、弔慰金支給には認定が必要である。客観的に審査をし、医学的に判断すべきと考える。新たな条例制定ではなく、今ある災害弔慰金支給条例及び規則の一部改正によって対応すべきと考えている。認定審査会は、どの自治体も持っていない。新潟県が中心となり県内30市町村と連携して審査会を設置してもらうよう伝えていきたい。

学区再編等検討委員会
答申を受けての対応は

Q

令和5年度の出生数が、令和6年3月8日の学区再編等検討委員会の答申を受けて、市長の今後の対応を伺う。

A

大和の東地区で保育園・小学校の保護者を対象に懇談会を開いて説明する。また、市内12のまちづくり協議会の役員にも、近日中に説明会を開く。各地区の要望があれば、それに答えて説明会を開く。教育部が中心となって説明するが、市政懇談会でも説明する。また、市報5月号のQRコードで答申全体が見られる。出生数には愕然とした。子どもが増えるように頑張っていく。



学区再編等検討委員会
最終答申(令和5年度)

令和
5年度

南魚沼市議会政務活動費収支一覧

政務活動費は、議員の調査研究などの活動に必要な経費の一部として市から交付されるものです。南魚沼市では、議員1人当たり月額1万7,000円を半年ごとに会派（無所属の場合は議員個人）に交付しています。令和5年度に政務活動費がどのように使われたか、お知らせします。

会派名	南魚みらいクラブ (8名)	歩む会 (4名)	市民クラブ (4名)	未来創政会 (3名)	日本共産党議員団 (2名)	黒岩揺光	計 (22名)	
交付額	1,632,000	816,000	816,000	612,000	408,000	204,000	4,488,000	
支出	調査研究費	1,139,288	457,326	390,270	354,164	0	0	2,341,048
	研修費	535,400	0	60,550	0	0	0	595,950
	広報費	0	0	199,971	0	418,830	0	618,801
	広聴費	0	0	0	0	0	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	0	0	0
	資料購入費	0	0	0	10,670	0	0	10,670
	人件費	0	0	0	0	0	0	0
	事務所費	0	0	0	0	0	0	0
	計	1,674,688	457,326	650,791	364,834	418,830	0	3,566,469
返還額	0	358,674	165,209	247,166	0	204,000	975,049	

会派名	内 容
南魚みらいクラブ	●研修 令和5年5月8日～9日 7名参加 市町村議会議員特別セミナー(千葉市)：自治体議会改革に必要なもの、女性・若者の参画が政治を変える、サーキュラーエコノミーの実現と自治体の役割、議会のデジタル化をどう進めるか
	●視察 令和5年10月5日～6日 8名参加 豊岡市：城崎温泉をフックにインバウンド誘致に成功した取組について 公立豊岡病院(豊岡市)：地方自治法に基づいて設置された公立病院運営、豊岡市と朝来市からなる公立豊岡病院組合の取組について
	●視察 令和6年2月14日～16日 8名参加(14日6名) ユーグレナ竹富エビ養殖株式会社(竹富町)：クルマエビ養殖事業について 石垣市：石垣市観光振興、放課後子ども総合プラン、台湾有事、尖閣諸島情報発信センターについて
	●研修 令和6年3月28日 8名参加 地方議会セミナー(金沢市)：議員が有する発言権～不穏当発言・不規則発言への対処手法～
歩む会	●視察 令和6年1月16日～18日 4名参加(18日3名) ひだまりグループ株式会社ビジョナリー(名古屋市)：介護人材の確保について 住之江工場ゴミ処分施設(大阪市)：ゴミ処理施設の視察 島本町：議員のなり手確保について
	●視察 令和6年2月13日～14日 3名参加 津市：高齢者外出支援事業について 多気町：自動運転バスの導入について
市民クラブ	●視察 令和5年6月26日～27日 4名参加 株式会社DK-Power(岸和田市)：光明配水場のマイクロ水力発電の稼働状況について 塩尻市：CLTパネル工法による建築メリットと成果について
	●研修、視察 令和6年2月7日～8日 4名参加 研修 地方議員研修会(千代田区)：人口減少対策(まちひとしごと総合戦略) 視察 一般社団法人えんがお(大田原市)：多世帯交流の地域仕組みづくり
	●会派広報誌「広報市民クラブ」発行(第15号)
未来創政会	●視察 令和5年5月9日～11日 3名参加 市川三郷町：在宅福祉サービスについて 富士河口湖町：観光と合宿誘致について 三郷市：日本一の読書のまち三郷について
	●視察 令和6年1月16日～18日 3名参加 台東区：オーディオブック導入について 春日井市：オンデマンド乗合サービスに関する取組について 刈谷市：議会のICT化について 焼津市：ふるさと納税促進のための取組について
	●資料購入 令和6年2月15日 3冊 ・社会的弱者にしない自治体法務 ・ポストコロナ時代の高齢者ケア-2025地域包括ケア転換期 ・住民視点で考える！自治体議員のための防災・復興の基礎知識
日本共産党議員団	●会派広報紙「市議会報告」発行(第68号・第69号・第70号・号外)
黒岩揺光	なし

令和5年度会派視察報告書はウェブサイトでご覧いただけます。



9月

議会
カレンダー
(予定)

9月2日	月	本会議	12日	木	本会議 (決算審議)
3日	火	本会議	13日	金	本会議 (決算審議)
4日	水	社会厚生委員会	14日	土	休会
5日	木	産業建設委員会	15日	日	休会
6日	金	総務文教委員会	16日	月	休会
7日	土	休会	17日	火	本会議 (決算審議)
8日	日	休会	18日	水	本会議 (決算審議)
9日	月	本会議 (一般質問)	19日	木	予備日
10日	火	本会議 (一般質問)	20日	金	本会議
11日	水	本会議 (一般質問)			

傍聴の
ご案内

本会議は、9時30分から市役所本庁舎3階の議場で行います。どなたでも傍聴できます。ただし、児童及び乳幼児の傍聴には議長の許可が必要となります。詳しくは、議会事務局（☎773-6650）までお問い合わせください。

議会報告会&意見交換会

「市民との集い」を開催します。

8月5日(月) 六日町会場 市役所本庁舎大会議室

8月6日(火) 塩沢会場 塩沢公民館研修室

8月7日(水) 大和会場 大和公民館大会議室

各会場ともに午後7:00より8:45まで

議員が各報告を行った後、皆様からご意見をいただき、議会として市政に活かしていきたいと考えています。

詳しくはQRコードをご覧ください。



内容

- ・議会が取り組んでいること
- ・定例議会報告について
- ・学区再編について
- ・市民と議員との意見交換会



議員定数に関する市民アンケートへのご協力ありがとうございました。
回答率は48%でした。

議員定数調査特別委員会

議会だよりのご意見、ご感想をお待ちしております！

宛先：議会事務局（☎773-6650）
またはQRコードをご利用ください。



議会広報編集特別委員

委員 長	川辺きのい
副委員長	大平 剛
委員	目黒 哲也
委員	梅沢 道男
委員	塩川 裕紀
委員	牧野 晶

6月定例会は、19名の議員が一般質問を行うなど、熱い議論が交わされました。そして、議会だよりも、今回から表紙を一新し、市内高等学校の写真部の皆さんの、若い感性を取り入れることになりました。

今号の作品は「初夏の一本道」です。この写真に込められた清々しさと、この道の先に南魚沼市の未来を感じてもらえるような議会だよりを目指したいと思います。

梅沢 道男

編集
後記